

熱産ヒート株式会社 (製造業) の取組み事例: 購買管理システムの構築

参加者

企業 	社名	熱産ヒート株式会社
	業種	製造業
	事業概要	熱処理技術の専門家として、溶接時の予熱・焼鈍工程を中心としたソリューション事業
	所在地 (都道府県)	福岡県
参加した 受講生 の概要 	チーム名	MONJU
	チーム人数	3人
	スキル・PR	製造業経験者3名が有するハードウェア/ソフトウェア/マネジメントのチームスキルをバランスよく活用し、企業様と一緒に課題解決に取り組めます！
	進める中で工夫したこと	ZoomとSlackを活用したリモート環境において、企業様から課題の背景のヒアリングを重ね、企業様の経営指標向上に役立てる意識を持って、PoC検証に取り組んだこと

実施概要

課題内容

購買管理のデジタル化の検討を進めたい

- 購買管理における課題を抽出したい
- 課題解決に向けた必要な要件を検討したい
- 最適ツールを模索したい



実施した検討内容

購買管理と生産工程管理とを統合した案件進捗管理の仕組み(PoC)の検討を実施

※ 案件: ここでは受注済みの案件が対象

- ヒアリングに基づき、購買/生産工程の業務フローおよび帳票類の整理を実施
- 作業標準およびデータ一元化の考え方の、組織内への浸透を図るDX-PoCを検討



検討の成果

現状(As-Is)を踏まえてあるべき姿(To-Be)を目指せるDX打ち手コンセプトを作成・提示

- 標準化概念を取り入れた購買・生産統合管理の業務フロー案およびDX案を提示した
- 今後の企業全体のDX化推進に際し基本的な方向性の可視化効果が出た
 - 業務フローとDXコンセプトとを組合わせた管理システム構築の打ち手を整理できた

熱産ヒート株式会社 (製造業) の取組み事例: 購買管理システムの構築

実施内容の詳細

管理の個別対応に標準化を取り入れ全体最適化を検討

- 業務フローの整理・分析を進めるにあたり、課題の深掘りにつながるよう、ヒアリングを重ねた
- 購買管理の課題探索の過程において、社内生産工程の進捗管理との統合化が重要であることを確認した
- 購買管理・生産進捗管理の統合化検討を進めるにあたり、次の点が課題であることを明らかにした

1. 予実対比にて管理する際の標準データの整備
2. 全体最適視点での管理に向けたデータの一元化
3. これらの課題解決を目指すDXコンセプトの案出

成果

現状 (As-Is) を踏まえてあるべき姿 (To-Be) を目指せるDX打ち手コンセプトを作成・提示

- 現状の整理→あるべき姿の具体化→バックキャストによる打ち手PoCの検討という考え方のフローを図式化することで、今後の方向性を可視化
- 打ち手コンセプトの検証 (PoC) について、1) Python/Excelベース、2) JavaScriptベース、3) 市販SaaSベースの3つのコンセプト案を提示し、DX取組みにおける最適ツール模索を支援した

